



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月25日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7477 URL <https://www.muraki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 加瀬 光二 TEL 042-357-5610  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月2日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,536	△1.1	43	86.5	50	72.4	21	645.3
2019年3月期第2四半期	3,576	△7.8	23	17.5	29	10.0	2	53.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 29百万円 (266.0%) 2019年3月期第2四半期 8百万円 (△65.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	15.49	—
2019年3月期第2四半期	2.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,921	2,200	56.1
2019年3月期	4,255	2,178	51.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 2,200百万円 2019年3月期 2,178百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2020年3月期	—	5.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,288	△1.1	77	△2.1	89	△6.9	30	△43.0	21.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	1,470,000株	2019年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	50,301株	2019年3月期	50,301株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	1,419,699株	2019年3月期2Q	1,419,736株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により力強さには欠けるものの緩やかな回復基調が続いておりましたが、通商問題の動向や中国経済の減速、中東諸国での地政学的リスクの高まりなどに加え、消費税率の引き上げに伴う消費動向への影響等、先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループの販売先であるサービスステーション(略称:SS)業界においては、大手石油元売会社の経営統合による再編は一段落し、市況は安定しております。しかしながら、燃料価格の高止まりは続き、ユーザーの節約志向からカーケア関連商品の販売は依然として厳しい状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは戦略的営業体制の営業特化はもとより、大手石油元売会社との連携を図りながら売上拡大、拡販を目指した結果、大手石油元売会社の経営統合によるシナジー効果と相まって、厳しい状況が続くカーケア関連商品の売上を下支えしました。自動車事故削減の一環として推進している安全運転装備に関する商品(ドライブレコーダー、誤発進防止システム等)は順調に推移しており、SS店内喫煙室等の快適新空間に関する商品も今後多くの需要が見込まれております。

10月の消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要は限定的で、収益への影響は軽微でありました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 3,536百万円(前年同期比 1.1%減)、営業利益 43百万円(前年同期比 86.5%増)、経常利益 50百万円(前年同期比 72.4%増)、法人税等 28百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は 21百万円(前年同期比 645.3%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は 2,841百万円となり、前連結会計年度末に比べ 328百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が 229百万円減少したこと、その他のうち、未収入金が 85百万円減少したこと、前渡金が 11百万円減少したこと等によるものです。固定資産は 1,079百万円となり、前連結会計年度末に比べ 5百万円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が 8百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は 3,921百万円となり、前連結会計年度末に比べ 333百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は 1,143百万円となり、前連結会計年度末に比べ 218百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 104百万円減少したこと、1年内返済予定の長期借入金が 102百万円減少したこと等によるものです。固定負債は 577百万円となり、前連結会計年度末に比べ 137百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が 135百万円減少したこと、退職給付に係る負債が 4百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 1,720百万円となり、前連結会計年度末に比べ 356百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ 22百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が 14百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が 7百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は 56.1%(前連結会計年度末は 51.2%)となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し、1,437百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は260百万円です。これは主要因として税金等調整前四半期純利益50百万円、たな卸資産の減少229百万円、仕入債務の減少92百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は297千円です。これは主要因として貸付けによる支出2百万円、貸付金の回収による収入2百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は245百万円です。これは主要因として長期借入金の返済による支出237百万円等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日付「2019年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,443,330	1,459,312
受取手形及び売掛金	956,122	945,338
商品及び製品	632,465	402,987
その他	138,976	34,428
貸倒引当金	△493	△100
流動資産合計	3,170,402	2,841,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	799,259	799,259
減価償却累計額	△739,425	△741,910
建物及び構築物(純額)	59,833	57,348
機械装置及び運搬具	8,245	8,245
減価償却累計額	△8,099	△8,110
機械装置及び運搬具(純額)	145	135
土地	480,711	480,711
その他	149,175	139,052
減価償却累計額	△126,265	△120,008
その他(純額)	22,910	19,043
有形固定資産合計	563,600	557,238
無形固定資産		
のれん	70,754	68,673
その他	3,834	3,026
無形固定資産合計	74,588	71,699
投資その他の資産		
投資有価証券	134,323	145,317
差入保証金	292,089	293,125
繰延税金資産	13,185	5,007
その他	10,076	9,926
貸倒引当金	△2,668	△2,663
投資その他の資産合計	447,006	450,713
固定資産合計	1,085,196	1,079,652
資産合計	4,255,598	3,921,619

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	775,274	670,850
1年内返済予定の長期借入金	440,815	338,361
未払法人税等	33,677	33,460
賞与引当金	33,704	13,265
その他	78,281	87,139
流動負債合計	1,361,752	1,143,076
固定負債		
長期借入金	372,279	236,781
役員退職慰労引当金	38,730	40,670
退職給付に係る負債	278,999	274,953
繰延税金負債	21,495	21,495
その他	3,760	3,760
固定負債合計	715,263	577,659
負債合計	2,077,015	1,720,735
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	220,838	235,732
自己株式	△47,732	△47,732
株主資本合計	2,172,410	2,187,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,171	13,578
その他の包括利益累計額合計	6,171	13,578
純資産合計	2,178,582	2,200,883
負債純資産合計	4,255,598	3,921,619

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,576,618	3,536,408
売上原価	2,716,478	2,688,710
売上総利益	860,139	847,698
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	403,899	390,817
賞与引当金繰入額	13,714	13,265
役員退職慰労引当金繰入額	4,040	3,940
退職給付費用	11,211	9,323
その他	404,071	387,085
販売費及び一般管理費合計	836,936	804,431
営業利益	23,202	43,266
営業外収益		
受取利息	716	803
受取配当金	756	986
仕入割引	5,356	5,580
貸倒引当金戻入額	509	398
その他	2,050	1,884
営業外収益合計	9,388	9,653
営業外費用		
支払利息	2,938	2,086
手形売却損	256	314
その他	199	183
営業外費用合計	3,394	2,584
経常利益	29,197	50,336
特別利益		
固定資産売却益	787	—
特別利益合計	787	—
特別損失		
固定資産除却損	271	—
特別損失合計	271	—
税金等調整前四半期純利益	29,712	50,336
法人税、住民税及び事業税	24,362	23,434
法人税等調整額	2,399	4,909
法人税等合計	26,761	28,343
四半期純利益	2,951	21,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,951	21,993

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,951	21,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,081	7,406
その他の包括利益合計	5,081	7,406
四半期包括利益	8,032	29,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,032	29,399
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	29,712	50,336
減価償却費	10,495	7,330
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△511	△398
のれん償却額	2,081	2,081
賞与引当金の増減額(△は減少)	34	△20,439
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,973	△4,045
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,060	1,940
受取利息及び受取配当金	△1,472	△1,790
支払利息	2,938	2,086
有形固定資産売却損益(△は益)	△787	—
固定資産除却損	271	—
売上債権の増減額(△は増加)	86,730	3,276
たな卸資産の増減額(△は増加)	129,889	229,581
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△2,512	83,474
差入保証金の増減額(△は増加)	24,462	△1,014
仕入債務の増減額(△は減少)	△99,017	△92,992
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△572	△6,987
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△1,129	—
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	9,345
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,130	23,520
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△622	△31
小計	179,772	285,273
利息及び配当金の受取額	1,399	1,265
利息の支払額	△2,836	△2,021
法人税等の支払額	△51,683	△23,619
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,651	260,897
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,699	—
有形固定資産の売却による収入	787	—
無形固定資産の取得による支出	△4,098	—
投資有価証券の取得による支出	△317	△318
貸付けによる支出	△2,300	△2,000
貸付金の回収による収入	2,511	2,079
出資金の回収による収入	50	—
差入保証金の差入による支出	△4,597	△217
差入保証金の回収による収入	3,628	105
長期前払費用の取得による支出	△700	—
その他	783	648
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,951	297

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△267,840	△237,952
配当金の支払額	△7,170	△7,261
その他の支出	△315	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△275,325	△245,213
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△168,626	15,981
現金及び現金同等物の期首残高	1,580,244	1,421,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,411,618	1,437,312

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	カーケア関連 商品販売	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	3,571,264	5,353	—	3,576,618
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	79	47,708	△47,788	—
計	3,571,344	53,062	△47,788	3,576,618
セグメント利益	21,823	779	600	23,202

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「看板・チラシ等の販  
促物の企画・製作」等の事業活動であります。

2. セグメント利益の調整額600千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

当社グループは、カーケア関連商品販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業につ  
いては、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。